

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

くらし・スマートの家

グループの名称

くらし・スマートの家の会

直近採択グループ番号

06-0384-0355

(グループ代表者)

代表者名	田中 和英	代表者印
代表者所属先	クラシス株式会社	
代表者所在地	福井県鯖江市下河端町1701番地	
代表者電話番号	0778-54-8400	

(グループ事務局)

事務局事業者名	クラシス株式会社	
事務局担当者名	田中 博道	印
事務局郵便番号	916-0038	
事務局所在地	福井県鯖江市下河端町1701番地	
事務局電話番号	0778-54-8400	
事務局FAX	0778-54-8412	
事務局担当者E-mail	h-tanaka@crasis.co.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	4	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
				0	m ²				
				その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0		棟	
						0	m ²		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)		下記の順位にて配分を決定する。 1.請負契約書を提出し配分の申し込みを行う。 2.着工時期が早い物件を優先とする。(半月単位) 3.同時期での申し込みが多数の場合は抽選とする。							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くらし・スマートの家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、滋賀県、石川県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) くらし・スマートの家の会	(結成年) 2014年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0384-0355	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・横架材のたわみ・端部のせん断において独自の安全率を設定し架構設計を実施する。 ・冷房期より暖房機の方が長期間であることから、暖房機器によって消費される一次エネルギーを削減する為に、断熱材の熱抵抗値を、屋根断熱の場合:4.6、天井断熱の場合:4.0、壁:2.2、外気床:3.3、その他床:2.2以上とする。 ・開口部に関しては、サッシ・玄関ドアの熱還流率を3.49以下とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・耐震性・耐久性も考慮しつつ、通柱のサイズは在来仕口の場合は120角以上とし、止む得ず105角を使用する場合は胴差し部分の仕口を金物仕口とする。 ・福井県嶺北地域は全国的にみても相対湿度が高いため、躯体内結露を防止するために、外壁通気工法を基本とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・建築地域や隣接する建物を考慮し、住宅の通風シミュレーションを実施する。 ・シミュレーション結果を基に、間取りや開口位置をプランニングに反映し、冷房期の通風措置を考慮する。 ・庇を積極的に取り入れ、夏季の日射遮蔽・冬季の日射取得を考慮する。 ・近隣の景観や落雪方向に十分配慮し、ソーラーシステム等により自然エネルギーを有効活用する。	○
④①～③の背景	・福井県は沿岸部から山間部まで幅広く、告示で定められている地域区分も4地域から6地域と幅が広い。 ・湿気を多く含んだ雪が降り、かつ積雪期間が長い為、それらを考慮し住宅の軸組に反映させる。 ・断熱性能の向上＋気密性能の向上＝住まい手の健康・快適向上と位置付け高断熱・高气密化を図る。 ・自然風・太陽光・木材などの長所を上手に住宅に取り入れ、健康や癒しの空間を求め、さらに消費エネルギー削減を図る。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・地産地消を目的として、福井県産材を積極的に活用する。 ・枠材に県産材を活用した耐震木造軸組パネルを制作し、標準採用を図る。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通柱のサイズは在来仕口の場合は120角以上、金物仕口の場合は105角以上を使用。 各部位の断熱材の熱抵抗値を設定。 開口部の熱還流率を3.49以下とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通柱のサイズは在来仕口の場合は120角以上、金物仕口の場合は105角以上を使用。 各部位の断熱材の熱抵抗値を設定。 開口部の熱還流率を3.49以下とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通柱のサイズは在来仕口の場合は120角以上、金物仕口の場合は105角以上を使用。 各部位の断熱材の熱抵抗値を設定。 開口部の熱還流率を3.49以下とする。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が設計サポートを行う事により下記の内容を実施する。 事前に使用する資材を把握し、一括仕入れを行う。 仕様提案を行い、仕様の統一化を推進する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が主導し、構成員間での情報共有を促進する。 事務局が主導し、木造住宅合理化システム認定制度を取得する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3ヶ月に1回の検討会を実施する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造住宅合理化システム認定制度の活用を提案する。 事務局主導で事業者間での意見交換会を開催する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保保険への加入を義務化し、その施工基準を遵守する。 平成28年度省エネルギー基準の適合。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による現場検査の実施。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積もり項目を具体的に、かつ分かり易く記載し“一式”を記入しない。 契約の際に工事範囲や内容を必ず口頭で伝え、施主に疑問が残らないようにする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計手法などを理解して頂く為に、構造内覧会や完成内覧会を推奨する。 その際、グループ内において他社の内覧会への参加を積極的に行っていく。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカットできる資材は可能な限りプレカットし、工期に対して余裕を持てるようにする。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 個人事業所から法人に移行した場合には、社会保険への加入を勧める。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 防災防が開催する安全講習会への参加を勧める。 定期健康診断への参加を勧める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	未経験の施工事業者に対してグリーン化事業への取り組み方、顧客への説明などに関する説明会を定期的に開催する。 認定長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅のモデルプランを作成し、プラン提供・仕様のパッケージング化・計算サポートなどを提供する事により、長寿命型・高度省エネ型の経験項目を増やす。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) くらし・スマートの家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、滋賀県、石川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) くらし・スマートの家の会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0384-0355	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成30年度対応方針】		
a	① 住宅蓄積情報のメンテナンス基準	◎、○記入欄
①-1	内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・データと紙ベースにて、施工事業者と事務局の両者にて30年間は保管・管理する。
①-2	情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・クラウドサービスである“リビングベル”の活用。
①-3	履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・履歴管理チェックシートを活用。 ・クラウドサービスである“リビングベル”の活用。
②	メンテナンス基準	
②-1	点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検を定期点検計画に基づき、1年・3年・5年・10年後に実施し、以後は10年毎に実施する。
②-2	補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・履歴管理チェックシートに基づき定期点検を行い、適時判断する。
②-3	点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・履歴管理チェックシートの写しを 施主、施工事業者、事務局 の3者で管理する。
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・契約時に“リビングベル”を活用した履歴管理の内容説明を行う。
③-2	DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・DIYに関する冊子や情報を施工業者を通じて施主に提供する。
③-3	その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・イベント等を通じて相談会を実施する。
④	維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・会主催の勉強会の場を活用し、維持管理に関する意見交換会を実施する。
⑤	その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・万が一、施工業者が事業継続困難となった場合の定期点検などについてはグループ内の施工業者へ協議の上、引き継ぎを行う。
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵保険会社と共同で定期的に開催する。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	◎、○記入欄
②-1	品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「フラット35木造住宅工事仕様書」を基準に品質管理を行う。
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「フラット35技術基準適合仕様確認書」を用いて行う。
③-1	需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
③-2	技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期的に勉強会や商品説明会を継続して行う。
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工と設計を兼ねている事業者がほとんどなので、設計図面での瑕疵がないかを、事務局が定期的にチェックを行う。
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 50 今年度の参加目標人数 60
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 15	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・一般社団法人 福井県建築士会が福井県内で行う、住宅省エネルギー技術講習での会場提供や講習会への参加を促す。
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・制震装置 ・パネル工法
②	新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・福井県嶺北エリアに見合った、高性能な躯体性能を保持した全館空調の検討。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
・施工前に住宅の燃費(光熱費)をシミュレーションし、引き渡し後から1年間の光熱費のデータを収集する。 ・光熱費データを分析し、効率のよい低燃費住宅を模索する。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) くらし・スマートの家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、滋賀県、石川県												
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) くらし・スマートの家の会	(結成年) 2014 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0384-0355													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a														
①	地域材利用に関する 共通 ルール (必須)	・主要構造材の85%以上を国内外の合法木材(FSC・PEFC・SGEC等)、もしくは福井県産材とする。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位 (必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>下記の要件を事務局が一元して管理・運営を行う。</p> <p>・使用した材の 原木産地→製材業者→流通業者→プレカット業者→施工現場 までのトレーサビリティ体制の「見える化」を構築。</p> <p>・原木、製材業者と協力し、早期の相場変動や生産状況の変化を把握し情報を発信していく。</p> <p>・福井県産材の活用を促すとともに、施工事例などを紹介していく。</p>												
b														
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工程が決まった段階で即座に積算時の数量を基に在庫状況を把握する。												
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・原木、製材業者と協力し、早期の相場変動や生産状況の変化を把握し情報を発信していく。												
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・定期的に工程の確認を行い、見積もり時の数量と照合して需給予測を立てる。												
c														
①-1	畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用予定枚数(1畳換算) 100枚												
①-2	和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用予定枚数 150坪												
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用予定枚数(3*7換算) 16枚												
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用予定枚数(3*3換算) 20枚												
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・特産の和紙を使ったクロスや襖の採用を促す活動を行う。												
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・特産の越前瓦を採用した物件の事例を紹介し、採用を促す活動を行う。												
d														
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・福井工業大学の学識経験者と施工業者を交えた意見交換会を設けて、プランニングに反映させていく。												
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・福井県は沿岸部から山間部まで幅広いので、各エリアで家づくりを行っている、メンバー毎のグループを結成し情報交換を行っていく。												
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・各市町が策定している景観基本計画指針に基づき、街並みに合わせた設計を行っていく。												
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・木製の庇や格子、土壁などを適材適所に使用する事により、和の表現はもとより住宅の性能も付与される事をPRしていく。												
その他	※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・福井県嶺北地方の伝統工芸品を扱う団体等と連携し、イベントの企画や商品開発を行ってきたい。 ・地産地消を目的としているが、継承者を発掘する場としても期待している。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	積極的に東北産の木材を利用すると共に、2次製品なども取り入れていきたい。												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	積極的に熊本県産の木材を利用すると共に、2次製品なども取り入れていきたい。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> くらし・スマートの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福井県、滋賀県、石川県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> くらし・スマートの家の会	<small>(結成年)</small> 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0384-0355	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
▽共通項目 ・断熱材の熱抵抗値を、屋根断熱の場合:4.6、天井断熱の場合:4.0、壁:2.2、外気床:3.3、その他床:2.2 以上とする。 ・開口部に関しては、サッシ・玄関ドアの熱還流率を3.49 以下とする。 ▽認定低炭素住宅 ・目標値として BEIを0.85 とする。 ▽性能向上計画認定住宅 ・目標値として BEIを0.85 とする。 ▽ゼロ・エネルギー住宅 ・目標値として 再生可能エネルギーを除いた削減率を 25% とする。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。